

公益財団法人 かながわ国際交流財団

名称	公益財団法人 かながわ国際交流財団	
英文名	Kanagawa International Foundation	
代表者	理事長 高橋 忠生(H27.7.1現在)	
所在地・連絡先	〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-21-8第1安田ビル4階 TEL:045-620-0011 FAX:045-620-0025 URL: http://www.kifjp.org E-mail: tabunka@kifjp.org	
設立年月／地域国際化協会認定年月	1977(昭和52)年2月15日設立／1990(平成2)年認定	
基本財産／年間予算額	708,481千円／193,499千円	
会員制度	個人会員76人(年会費3,000円、学生会員1,500円)、団体会員14団体(年会費10,000円から)	
役員数／職員数	11名(常勤2名)、16名	
国際交流施設の概要	多文化共生・NGO協働推進センター	面積171.42㎡
	湘南国際村学術研究センター	面積416㎡
民間国際交流団体とのネットワーク		
定期刊行物	KIF NEWS・日本語年1回	
主な出版物	<p>「ミュージアムが社会を変える～文化による新しいコミュニティ創り～」(2015.1)、「災害のときの便利ノート」(2015.2)、「外国人保護者・生徒のための中学校生活を充実させる10のポイント」(2015.3)、「あるあるマンガでよむ 外国につながる生徒の高校進学サポートガイド こまったときの10のヒント」(2014.3)、「外国人住民サポートアイデア集」(2014.3)、「外国人保護者のための予防接種のしおり」(2014.3)、「外国人住民向け防災啓発ポスター＆チラシ「災害への備えは大丈夫？」」(2014.3)、「みんなで育てる多文化共生」(2012.2)、「外国人コミュニティ調査報告書」(2012.2)、「介護の仕事」(2012.9)、「介護現場における外国人の就業の現状等に関する調査報告書」(2012.9)、「外国人コミュニティ調査報告書 その2」(2013.2)、「地域に生きるミュージアム～100人で語るミュージアムの未来Ⅱ～」(2013.2)、「やさしい日本語でコミュニケーション」(2013.3)、「かながわ多言語生活ガイド」(2013.3)、「外国につながる子どもの未来を支えるために～5年後、10年後を見据えて成長を見守るヒント～」(2013.3)、「外国につながる子どもがホッとする授業づくり～教科書を活用したアイデア集」(2012.3)、「日本生まれの外国につながる子どもたち」(2011.3)、「100人で語る美術館の未来」(2011.2)、「かながわの多文化ソーシャルワークの推進に向けて」(2011.2)「外国につながりをもつ子どもの教育に関する調査プロジェクト」(2010. 6)「かながわの日本語学習支援」(2009.3)、「新貿易ゲーム改訂版」(2006.7)、「多言語生活情報の提供・流通その3」(2008.3)</p>	
平成27年度 主要事業	1. 生活情報の提供と安全サポート	外国人住民が、安全かつ安心して生活し、地域社会へ参画できるよう、多言語による生活情報や必要な行政情報等を提供し、必要とする外国人住民の手に届くよう、情報の流通促進を図るとともに、災害時の適切な情報提供等に備えるための事業を実施する。(1,929千円)
	2. 外国につながる子どもの支援	県・市町村、NGO/NPO、県内外の専門家等と連携しながら、県内の外国につながる子どもたちの生活・学習環境を整備する事業等を行う。(4,728千円)
	3. NGO/NPOとの連携・協働の推進	NGO/NPO活動を推進することを目的として、県補助金、個人、企業、団体からの寄付金を原資として設置された「かながわ民際協力基金」の運用益を活用し、資金助成を行う。(6,910千円)
	4. 県民への情報発信	財団の活動や事業成果等を広く県民に発信するとともに、多文化共生の地域社会づくり、NGO/NPO等の県民活動、学術・文化交流等に関する県・市町村、NGO/NPO、関係団体の情報を収集し発信する。(3,206千円)
	5. 国際人材の育成	環境、開発、貧困・格差などの地球的規模の課題の解決に必要な国際的な視野を持つとともに、急速に「多文化」化が進む地域社会の諸課題の解決に意欲をもって取り組む「多文化理解マインド」を持った人材を育成する。(11,153千円)
	6. 学術・文化交流の促進	21世紀かながわ円卓会議やミュージアムサミット等の諸事業を通じて、学術的な知の蓄積と地域実践とを結び、中間支援組織として地域社会の課題解決に寄与する。(11,478千円)